

## 令和元年度 第1回昭和町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和2年2月25日(火)  
開会 午前10時00分 閉会 午前11時25分
- 2 会 場 昭和町役場別棟会議室
- 3 出席者 町 長 塩澤 浩  
副町長 渥美 幸久  
教育長 太田 充  
教育委員 山田 由美  
教育委員 磯部 幸廣  
教育委員 石原 保夫  
教育委員 小宮山 稔
- (事務局関係)
- 総務課長 篠原 正浩  
教育委員会学校教育課長 五味 隆  
教育委員会生涯学習課長 小宮山 毅  
総務課総務係長 阿部 裕一  
教育委員会学校教育課学校教育係長 細田 忠司
- 4 協議事項 (1) 昭和町教育方針について  
(2) その他

## 別紙（議事詳細）

### 1 はじめの言葉（篠原総務課長）

### 2 町長あいさつ（塩澤町長）

※あいさつ内容は省略

### 3 前会議事録確認

阿部総務係長より、平成 30 年度第 2 回総合教育会議議事録の確認について説明を行った。

### 4 議事

#### （1）学校教育課関係について

- ①英語教育の充実
  - ②プログラミング教育の充実
  - ③論理的思考・創造力・問題解決能力等の「考える力」の育成
  - ④不登校、いじめ対策
  - ⑤コミュニティー・スクールの充実
  - ⑥公営塾（貧困対策含）の設置
- これらについて学校教育課長より、説明を行った。

#### （2）生涯学習課関係

- ①こども教室（貧困対策含）の充実
  - ②スポーツ教室（貧困対策含）の充実
  - ③社会体育の振興
  - ④カメラリアとの連携の充実
- これらについて、生涯学習課長より説明を行った。

（篠原総務課長）

ただいま両課から説明がありましたが、これに対してのご質問やご意見がありましたらお願いします。

（太田教育長）

ただ今の説明に補足させていただきます。

学校教育関係の説明にある①～⑥については町長の施策の中にある教育環境の充実について具現化したものとして広報や議会などで公表されたものが記されています。教育を柱とした町づくりということで記されています。

(山田教育委員)

英語教育の充実ということで、オーストラリア派遣について参加者に対し町から負担をしてもらっているが保護者の負担がある程度高額になっている。

派遣に参加したくても経済的負担が大きく参加を断念するという話も聞く。

それであれば、経済的負担がかからないスカイプによる交流を進めてもらってもいいのではと思う。

(五味学校教育課長)

費用負担の話は後ほどとして、スカイプを利用しオーストラリアの学校と交流した児童が、中学生になればスカイプで交流した子たちと「派遣事業で会えることを知り楽しみにしている。」といった意見もあった。

事前交流後に実際に合うことが出来れば、参加者が得られるものが変わってくるのではないか。

(小宮山生涯学習課長)

補助金について検討したが、個人負担をどこまでしてもらうかの線引きは難しい。

参加対象は社会人までを対象としているので、バイト等で負担金を貯めて派遣事業に参加してもらうのも一考かと思う。

(山田教育委員)

派遣事業に参加希望した子供の中に、親の滞納があり参加できなかった子供がいた。

家庭の事情で致し方ない場合もあるが、検討してもらいたい

また、スカイプによる交流はありがたいので、継続してもらいたい。

(磯部教育委員)

公営塾については準用保護世帯を対象にしているようだが、対象者の基準はあるのか。

(五味学校教育課長)

学力向上フォローアップの現状は、多くの子が参加しているが、夏休みに家にいるくらいなら勉強に行き来いと親に促され参加している子供もいる。

学力フォローアップ参加者の中には参加しても学習せずにいる子供もいる。

公営塾についてはそのような状況を避けたい。受け入れ場所の問題や、受け入れ人数の問題もあり、公営塾については参加者を準用保護世帯に限るかについては検討中。

(太田教育長)

公営塾への参加は事前登録制にして、運営していくことを考えている。

(小宮山教育委員)

公営塾の対象になりそうな子供は何人くらいか。

(太田教育長)

170人あまりである。

(小宮山教育委員)

準用保護、保護家庭と一般家庭の学力格差はどのようになっているか。

(太田教育長)

町内のその件に関する学力格差の分析はしていないので不明。  
全国的には経済格差が学力格差になっているのが一般的な見方。

(小宮山教育委員)

学習意欲のある子たちに参加のチャンスを与えてほしい。  
経済格差による学力格差が出ないようにしてもらいたい。

(太田教育長)

公営塾事業を実施しながら、運営方法の方向性について模索していきたい。

(塩澤町長)

公営塾について実現したい思い入れがある。

参加希望が多い場合には実施日を分ける等の配慮をし、参加希望者には多くのチャンスを与えたい。

(小宮山教育委員)

英語教育の今後の展望は

(太田教育長)

昭和町では5年間継続して英語教育に重点を置いて実施している。

このことをふまえ、今後も英語教育を継続していきたい。

(石原教育委員)

中央市の適用指導教室の具体的指導方針は、どのようになっているのか。

(五味学校教育課長)

現時点で具体的には出ていない。対象者の居場所の確保、家からの引きこもり状態からの脱却を目指し、家庭訪問を実施し適用教室への参加を促す等考えられるが、中央市と具体的な内容について検討していきたい。

(石原教育委員)

その場合も学力のフォローアップを行うのか

(五味学校教育課長)

学力フォローアップや学習相談の実施等は検討している。

それだけではなく、参加者が運動などで息抜きもできるような教室を検討している。

(石原教育委員)

今回の事業計画案を見ると学校教育課と生涯学習課の事業に似かよった部分がある。統合した事業ではなく、課ごとの事業となるのか。

(小宮山生涯学習課長)

プログラミング教室は土曜日の子ども一時預かり、子供の居場所づくりの一環として実施する事業である。

(石原教育委員)

事業としては、学校教育、生涯学習一緒に実施した方が効率的ではないか。

(五味学校教育課長)

学校教育課の事業のプログラミングは授業としてのプログラミングであり、生涯学習課のそれは授業に興味を持った子供たちに対して実施する事業である。

(太田教育長)

生涯学習では土曜日に楽しみながら学べる場として開設していきたい。

(小宮山教育委員)

にじいろ教室について、不登校の子供たちを少しでも少なくすることが必要だと考えている。

(太田教育長)

全国的には中学生は 30-35 人に 1 人、小学生は 90-100 人に 1 人は不登校と言われている。昭和町は不登校が多いと言われている。

家庭の問題が多くなり、不登校が発生している。福祉現場の力を借りないと本人の生存確認も取れない状況が出てきている。

学校現場、福祉現場でチームを組んで対応していくことが迫られている。

実効性ある教育を実現するために出向いて指導していく適合指導教室が実現できればと思っている。

(塩澤町長)

不登校問題も深刻な問題だと感じている。

不登校が引きこもりにつながることを考えると深刻な問題である。

何ができるかをみんなで共有し、少しでも早い時期に事業を具現化していきたい。

(篠原総務課長)

その他、何かありましたらお願いします。

(五味学校教育課長)

ギガスクール構想について概要説明

- ・ 1 人 1 台の端末整備 補助金整備を実施する。
- ・ ネットワーク環境整備の半額負担、保管用キャビネットの半額助成。
- ・ 1 人 1 台 上限 4.5 万円の端末購入補助を実施。
- ・ 令和 5 年までの 5 年間の補助金 令和元年度の補正予算でネットワーク整備。
- ・ キャビネット整備について補助金申請をするよう国より指示あり。
- ・ 急遽、国から補助金申請の指示があったが、申請を行った。
- ・ 1 人 1 台の P C については県で共同調達予定。

(塩澤町長)

国からの急遽の指示であったので、検討した結果、補正予算で対応する方が有利であるとの結論から補正予算で対応することとなった。

不交付団体は補助金について不利な部分がある。

(小宮山教育委員)

機器導入後の機器メンテナンスについて大変ではないか

(山田教育委員)

機器のリース・買取の別はどうなるのか

(五味学校教育課長)

リースになると思う

費用負担はタブレット本体について費用補助があるが、ランニングコストは費用補助なし。

(塩澤町長)

機器整備後は、費用が相当掛かることになる。

(太田教育長)

事業開始後は子供たちにタブレット貸与するとすると、故障や壊れることが懸念される。

そちらの心配もしなくてはならない。

教育現場では今後タブレットが必要不可欠になってくる。

今後の使用方法についても検討する必要がある。

その他

事務局 なし

委員より

(山田教育委員)

コロナウイルス感染の際の対応等についてどうなるのか。

(太田教育長)

対応に対する規程もない、今週末に町内各校の校長とコロナウイルスの感染者が発生した際の計画を作成予定。

今後の感染状況、年度末に向けた行事のあり方について検討予定である。

(塩澤町長)

町でもコロナウイルス対策会議を何度か開いている。

全国の学校の対応が異なっているので町内の学校の対応についても同様に進めている。

(磯部教育委員)

学校施設の長寿命化について計画が出てきたが、公共施設の長寿命化についてはどうなっているか。

(塩澤町長)

公共施設についての長寿命化の素案が出ておりパブリックコメントを募集している。

今年度中には計画が完成する予定

(篠原総務課長)

公共施設の長寿命化については本日からパブリックコメントを募集している。

それでは、本日は様々なご意見をいただきましたが、皆様からのご意見は、これからの教育行政の中で生かしていけるよう努力したいと思いません。

以上を持ちまして、令和元年総合教育会議を終了いたします。

本日は長時間にわたりありがとうございました。